

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
感染看護学演習 I (疫学調査とサーベイランス)	2 単位 60 時間(30 コマ) 演習科目	博士前期 1 年次 通年開講	<input type="checkbox"/> ・不可 「下記 6, 7. 参照」
科目責任者	新改 法子		
担当者	新改 法子、松村 健太、加來 浩器 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
<p><ねらい> 感染制御のための疫学調査・統計学を活用したサーベイランスの基礎的知識を身につけ、危機管理のための能力を培い、感染症拡大防止のための効果的な感染対策や感染症看護専門看護師の活動を探究する。</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療関連感染サーベイランスの概念および代表的なサーベイランスの種類と具体的手法を説明できる。 2) 疫学の目的と基礎的な疫学調査の手法について説明できる。 3) 感染症流行時の早期検出と早期対応、アウトブレイクの要因分析と発生時の基本的な対策を説明できる。 4) 事例を通し、疫学的手法を活用した看護活動としてサーベイランスおよびアウトブレイクの対応の実際について討議できる。。 			
2. 授業計画・内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1-2 回 : 感染管理及び予防に必要な統計学の概念と基礎知識を深めるための演習① (松村) データの整理、データの中心・バラつき、標本調査、データから推測 3-4 回 : 感染管理及び予防に必要な統計学の概念と基礎知識を深めるための演習② (松村) 確率基礎、相関係数、回帰分析 5-6 回 : 感染管理及び予防に必要な統計学の概念と基礎知識を深めるための演習③ (松村) 独立性の検定、スクリーニング他 7-8 回 : 感染管理及び予防に必要な統計学の概念と基礎知識を深めるための演習④ (松村) 人口統計、年齢調整死亡率、基幹統計 9-10 回 : 疫学調査手法と国内外の感染症危機管理の仕組み① (加來) 感染症疫学の基礎、感染症実地疫学調査の実際 11-12 回 : 疫学調査手法と国内外の感染症危機管理の仕組み② (加來) 研究デザインと交絡因子、食中毒の傾向、 13-14 回 : 疫学調査手法と国内外の感染症危機管理の仕組み③ (加來) 災害と感染症 15-16 回 : 疫学調査手法と国内外の感染症危機管理の仕組み④ (加來) 生物テロ・バイオ災害の動向と対策 17 回 : 医療関連感染サーベイランスの概論① (新改) サーベイランスの定義・目的、種類、サーベイランスプログラムの要素と実施方法 18 回 : 医療関連感染サーベイランスの概論② (新改) サーベイランス実施に向けた施設のアセスメント、評価・分析・フィードバック 19 回 : 医療関連感染サーベイランスの概論③ (新改) 20 回 : 疫学および統計学を活用したアウトブレイク事例分析の方法 (新改) 21-22 回 : 疫学および統計学を活用したアウトブレイク事例分析 : BSI (新改) 23-24 回 : 疫学および統計学を活用したアウトブレイク事例分析 : SSI (新改) 25-26 回 : 疫学および統計学を活用したアウトブレイク事例分析 : UTI (新改) 27-28 回 : 疫学および統計学を活用したアウトブレイク事例分析 : VAP (新改) 29-30 回 : サーベイランスを活用した感染症拡大防止のための感染症看護専門看護師の活動事例 (新改) 			

3. 教科書、参考書

教科書：

- 1) 豊田修一, 星山佳治, 宮崎有紀子：看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理, 実教出版, 2022. 第3刷、ISBN 978-4-407-34953-5
- 2) 加來浩器 著：アウトブレイク探偵 -見えない感染伝播に迫る手法-, ヴァンメディカル, 2009年 ISBN:978-4-860-92080-7
- 3) 吉田眞紀子/堀成美編：感染症疫学ハンドブック, 医学書院, 2015, 978-4-260-02073-2

参考書：

- 1) 大曲貴夫/操華子編：感染管理・感染症看護テキスト, 照林社, 2015. ISBN:978-4-796-52350-9
- 2) 坂本史衣著：基礎から学ぶ医療関連感染対策 3版, 南江堂, 2020. ISBN : 978-4-524-23758-6
- 3) JHAIS 委員会監修, 藤田 烈編：感染対策のためのサーベイランス まるごとサポートブック 改訂版, メディカ出版, INFECTION CONTROL 別冊, 2023. ISBN:978-4-8404-8169-4

4. 成績評価方法

演習への取り組み状況 (40%)、プレゼンテーション・質疑応答の内容 (60%) で総合的に評価する。

5. 受講要件

感染症看護専門看護師コースの学生は必修

6. 社会人学生に対する配慮

オンライン授業等は相談があれば個別に対応する。

7. その他

課題について文献検討を行い、プレゼンテーション資料を作成して臨んでください。

本科目は、一部オンライン講義を含みますが、基本的に対面による授業とします。

やむを得ない理由による欠席等でオンデマンドを希望する場合は事前に教員に相談してください。

視聴を許可した場合は、授業の概要および発問への意見をレポートにまとめて、指定した期日内に提出していただきます。授業担当者または科目責任者が学習目標に沿って評価し、目標達成が認められた場合に出席とみなします。